

(令和2年度実務研修会資料)

共済会の現状と課題

1、 現状

(1) 組織の現状 (令和2年3月31日)

会員数	11,716名 (対前年比 485名増)
事業所数	511事業所

(2) 給付の状況 (令和元年度)

退職一時金・年金	766,271千円 (1,715名)
退職給付金 (差額)	46,226千円 (417名)
福利厚生 (給付金・買物補助券等)	53,241千円

(3) 福利厚生事業の状況 (令和元年度)

給付事業 (給付金・買物補助券等)	53,241千円
交流事業 (チケット斡旋含む)	27,111千円
通年チケット・補助券等	11,936千円

(4) 退職年金制度の充足率 (令和2年3月31日)

要支給額	10,916,132千円
年金信託財産	11,964,531千円
充足率	109.6%

2、 課題

退職金 (年金) 制度は令和2年4月1日から新制度に移行されました。今般の制度は、勤務期間が長くなればなるほど、会員の皆様にとって有利になる制度となっており、おかげさまで、会員の皆様への給付も順調に推移しています。今後の課題は、この制度が安定的に長く継続できるよう、財政検証や運用の方法を検討することであり、現在、理事会を中心に検討を重ねています。

また、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、福利厚生会員交流事業・チケット斡旋事業の全事業を中止にいたしました。事業の実施を楽しみにして頂いていた会員の皆様には、大変申し訳なく思っております。年末には「お見舞いと感謝」の気持ちを込めて、会員の皆様全員に商品券をお送りさせていただきました。

今後は新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、皆様に楽しんでいただける企画を実施したいと考えています。